

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	千曲市森のあんず等加工品開発と販売を通じた「あんずの里」振興事業
事業主体 (連絡先)	工房アプリコ 代表 近藤美枝子
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	11,092,339円 (うち支援金: 5,760,000円)

事業内容

- ①地元産のあんずのみを使用し、立ち上げ初年度のため加工施設が間に合わず、「しあわせ信州食品開発センター」の指導のもと、「缶詰又は瓶詰食品の製造業」の許可を取得。センターの施設を使用し、近代的加工機器を使用することにより、あんずジャムやあんずシロップ漬けを試作加工・販売した。
- ②JA ながの森店の遊休施設を賃借し、改修工事を行い、「減圧平衡加熱乾燥機」を導入。「菓子製造業」を取得し、ドライあんずをはじめ、ドライフルーツシリーズ、地元野菜の規格外品を乾燥し、乾燥野菜シリーズ・料理具材シリーズの開発にこぎつけた。



【あんず製品の加工風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①「減圧平衡加熱乾燥機」を購入し、あんず以外の野菜・果物を乾燥加工し、あんず農家の新たなビジネスモデルの構築を図った。
- ②地元の生産者があんず・果物・野菜を搬入。これを機にコミュニケーションの輪が広がり、我々シニア女性の活動に対する協力体制が生まれてきた。
- ③「あんずの里振興会」に入会し、草取り・あんずの摘果作業等に汗を流す姿が、あんずの保護・振興の活動に想像以上の影響を与え、千曲市森地区の「あんずの苗木1000本植えようプロジェクト」スタートの原動力となった。

【目標・ねらい】

- ①あんずの木を少しでも増やす
- ②住民の生産意欲への興味をひく
- ③シニア世代の頑張りを見せる
- ④地域の人たちとのコミュニケーションをつくる

※自己評価 【 A 】

【理由】

シニア世代の女性が頑張ったことで、男性陣も感化され、あんず振興の新たなプロジェクトを始めた。私達も参画し、あんず振興の一翼を担っている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①乾燥機をフル稼働し、より良い製品の加工・販売を目指す。また、地域の活性化につながるあんずの木の保護・育成に少しでも役立つよう、摘果作業等の労働を通し、「あんずの里」に貢献し、次世代に引き継げるよう、シニア世代の頑張りを見せる。
- ②各種商談会へ参加し、販路拡大を図り、市内の食品加工業者のOEMの受託をすすめ、共に地域活性化の一端を担う努力を続ける。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)